

第1回北栄町男女共同参画審議会 報告

日 時	令和2年3月25日（水）19:00～20:10
場 所	北栄町大栄農村環境改善センター 会議室3
出席者	杉上潤子会長、磯江華葉委員、磯江沙織委員、岡真美委員、田中潤平委員、中村康博委員、山本剛司委員（欠席2名） （事務局）企画財政課長 小澤、企画財政課政策企画室長 藤友

【日 程】

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 会長の互選
- 4 協 議
(1) 第3次北栄町男女共同参画基本計画に基づく施策の取組み状況について
- 5 その他
- 6 閉 会

【結果・意見】

- 3 会長の互選
会長：杉上潤子
- 4 協 議
(1) 第3次北栄町男女共同参画基本計画に基づく施策の取組み状況について

【意見】

○家事、介護、職業等での男女共同参画

(家事)

- ・アンケート結果を見ると、女性が家事をしているという割合がすごく多い。自分の家は共働きであり、妻も夜勤等があるため、自分が家事の多くを担っている。
- ・**配偶者の入院をきっかけに料理教室に来た男性は、包丁を握ることが苦じゃなくなったと話していた。お互いの思いやりが大切。これで配偶者も安心して入院できる。**
- ・女性の方が長生きであり、女性が先立つと男性は一人で生きていけないと言われる。洗濯の仕方も分からない人いる。生きていくために家事をできるようにすることが大切。

(介護)

- ・世間で介護をしているのは圧倒的にお嫁さんが多い。息子も介護すべきだと思うが、虐待になるケースもよく聞く。
- ・**認知症サポーター講習は小学生5年生も受けている。受講した男子が優しく介助する様子が見られた。将来はイクメンになったり介護をしたりする男性になることを期待している。**

(職業)

- ・以前と比較すると、**男性保育士も少しずつ増えてきている。放課後児童クラブでも男性が主任保育士をやっている。**お父さんおじいさんの年代の男性がいることは良いことである。女性が悪いわけではなく、**男性も女性も両方いると良い。**

○自治会役員への女性登用、自治会参加

- ・自治会長がしきりに女性役員が何年も出ていないと話していた。自治会では女性部がなくなり、公民館の掃除や炊き出しも男性を入れてやっていこうというようになった。

- ・規約を変えて女性役員を入れるなど、男女共同参画の計画に沿って、しっかり進んでいる自治会がある。
- ・鳥取中部地震の際、自治会の防災担当をしていた。7～8名が公民館に避難し一緒に寝たが、女性が多かった。年配の方も多く、トイレも洋式に変えないといけないと感じた。防災において、女性目線はとても必要だと思う。
- ・自治会の総会に出る人は年配の男性が多い。
- ・男性がやるのが普通という意識がある。
- ・北栄町では、平成30年には女性自治会長が7人いたが、今年は1人になった。原因が知りたい。
- ・年によって女性自治会長は多かったり少なかったりするが、女性役員が必要という意識は増えている。以前は批判的な意見も多かったが、今は前向きな意見が多い。
- ・女性で自治会長になった方が、普段から自治会の会合に出ておけばよかったと言われていた。
- ・女性は経験を積んでいない。若い時から色んな役を受けた方がよい。これまでは夫に早く晩御飯を食べさせて、会合に出させるのが女性の役目になっていた。
- ・地域行事でやきそばを出していた女性部がなくなり、消防団でやることになったが、食べ物を提供する有志を募ると、若い女性が手を挙げてタピオカを出してくれた。積極的な人に声をかけると良い。
- ・若いうちから地域に精通する人を育てることが大切。
- ・自分は自治会運動会で放送係を何度もしているが、地域の人全員の名前を言うことができる。地域を知るには良い仕事である。
- ・自治会長の仕事が重すぎるという理由で自治会長が1ヶ月決まらなかった。自治会長は女性でも男性でも大変な仕事である。
- ・自治会役員の共通の課題はなり手がない、誰もやりたがらないということ。自分のところでは、役員は家の持ち回りであり、世帯主の男性になることが多い。しかし、男の人は地域の人のことを知らないという場合も多く、町内会費を集める際にも苦勞するようである。自分が自治会役員をした時には一家総動員で夏祭りなどの準備をした。男性も女性も家族で支えることが大切。